

平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

公益財団法人不二たん白質研究振興財団

1. 事業の概況

平成29年度は当財団として第21期を無事終えました。本年度も研究助成事業（研究助成事業、報告会事業、報告誌事業）を例年通り実施し、広報事業では、ホームページ更新などに加え、大阪市において栄養士・一般を対象に公開講演会を開催し、多数の参加者にお集まり頂きました。また、ホームページを利用して、広報活動・公募手続きのウェブ化に引き続き、検索システムの改訂などの機能充実を図っております。

さらに、関係者に限定せず、研究助成やその広報に関連する機関に対して研究報告会を御案内し、本年度も独立行政法人並びにマスコミ分野からご出席頂き、当財団事業をより広範に知って頂くことができました。

2. 事業報告

1. たん白質に関する研究及びこれに関連する研究を行う者に対する研究助成事業

(1) 平成28年度研究報告会の開催

平成28年度（第20期）助成課題として採択された被助成者は1年間の研究期間を終えて、平成29年5月29日、30日の二日間にわたり「WTCコンファレンスセンター」（浜松町）に一堂に会して研究成果を報告して頂き、活発な討議が行われました。

特定研究課題3題と一般研究課題20題、8回目の発表になる若手研究者課題9題の計32件の報告がありました。特定研究では一昨年採択された2課題及び昨年採択された1課題の合計3件の報告があり、大豆成分の亜鉛吸収促進に関連する記憶力改善効果についての研究、筋肉委縮予防における大豆たん白質とホエーたん白質の相乗効果や抗酸化能についての研究、及び大豆β-コングリシニンの脂質代謝に関わる活性ペプチドとその分子機構についての研究が発表されました。一般研究では、基礎研究から栄養・医療・食生活や新たな大豆の利用性など、広範な学術分野に渡って大豆・大豆たん白に関わる多彩な報告があり、各分野からご出席の先生方による熱心な討論が行われました。また、若手研究者枠ではポスターを囲んで各発表者の発表と質疑が行われ、農業への利用、機能性研究、ヒトへの応用、大豆製品の好き嫌いなど食文化に関する調査など、今年も非常に多岐の研究分野に亘った発表となりました。研究者相互の質問も多く、それぞれのご専門分野を越えて活発な論議が行われました。今回も官公庁、独立行政法人並びにマスコミ分野の各位にご出席のご案内をさせて頂きました。

(2) 平成27年度研究報告会記録誌の刊行並びに平成28年度研究報告会記録誌の編集

平成27年度（第19期）に採択され、平成28年度にその助成成果が報告された内容を掲載した研究報告会記録誌「大豆たん白質研究」第19巻は平成29年6月に刊行し、関係者、希望者に無料で配布されました。本誌はISSN1344-4050、CODEN DTKEFV

として公開され、国会図書館等で閲覧することができ、又科学技術文献データベース（JICST）で検索が可能であります。

また、平成28年度（第20期）に採択された被助成者による研究成果を掲載する研究報告会記録誌「大豆たん白質研究」第20巻の編集作業は概ね完了し、平成30年6月刊行を予定しています。

（3）平成29年度研究助成金の支払い

前年度において採択された平成29年度（第21期）の一般研究への助成として、21件の課題に対して総額20,995千円を支払い、また若手研究者枠の助成では10件の課題に対して総額4,976千円を支払いました。同時に、特定研究への助成として、前年度採択課題3件及び新規採択課題1件に対して20,000千円を支払いました。これらの研究成果は、平成30年5月末に開催予定されている研究報告会において報告されます。

（4）平成30年度研究課題の選考

平成29年9月～11月の間に財団ホームページに募集要項を告知し、学会誌並びに学会ホームページ等に募集要項を掲載して、平成30年度（第22期）の研究助成の課題を募集したところ、一般研究課題80件、若手研究者枠16件、特定研究は新規3件及び継続2件併せて5件の応募がありました。

応募課題について選考委員長の名古屋大学松田 幹教授を中心に、選考委員の熱心な選考が行われ、所定の手続きに従い、当初採択予定20件に対して2課題を追加し、一般研究課題として22件（分野別内訳A：食品科学基礎3件、B：食品科学応用4.5件、C：栄養・健康科学12件及びD：人を対象とする科学2.5件；分野が重複する場合、それぞれ0.5件とした）が採択され、若手研究者枠は10件（分野別内訳A：2件、B：3件及びC：5件）が採択されました。特定研究の選考では、まず新規応募課題3件につき研究の意義や実施体制等について慎重なる議論が行われ、審議の結果次年度の新規課題採択は見送りとなりました。また、継続課題2件（代表者長岡 利氏の課題名「新規活性ペプチド特定を基盤とする大豆β-コングリシニンの脂質代謝改善作用の分子機構解明」及び代表者丸山光生氏の課題名「大豆関連タンパク成分を利用した高齢者の免疫機能低下の分子機構の解明に関する研究」）については、研究が順調に推移していることが確認されました。（申請総額；36,541千円）。

この選考結果は速やかに各研究者に通知されました。採択された一般研究課題22件、若手研究者枠10件及び特定研究課題2件の研究成果は平成31年度の研究報告事業で報告され、平成32年6月に研究報告会記録誌「大豆たん白質研究」第22巻として刊行される予定であります。

2. たん白質に関する研究及びそれに関連する研究に関する広報事業

（1）平成27年度研究成果の広報

研究報告会記録誌「大豆たん白質研究」第19巻に掲載された報告内容は同じくインターネット上で検索システムを付けて公開し、随時閲覧が可能としました。

(2) 公開講演会の開催

平成29年11月6日には栄養士・一般の方を対象に「大豆のはたらきin大阪－おいしさと健康を通して－」と題して大阪国際会議場特別ホールにて公開講演会を開催しました。

講演の1題目は京都大学大学院農学研究科河田照雄教授から「健康への食の活かし方：美味しく楽しく新しく」と題して、食品研究の立場から日本食の特長である魚と大豆が超高齢社会に突入した我が国の健康寿命の延長に貢献するとのお話頂きました。特に、近年大きな問題となっている糖尿病性腎症の進行に対して、大豆低脂肪乳画分の改善効果が期待できるなど、最新の研究結果が紹介されました。

2題目は辻調グループ企画部長の尾藤 環先生による「変化し続ける美食の価値」とのテーマでした。2020年に開催される東京オリンピックに向けた日本の食に関する課題をお話頂きました。食の国際化に伴い、多様性や持続可能性など国際的価値観が持ち込まれる中で、「美食」の概念も急激に変化しており、それらに対応する日本食のあり方やクールジャパン・地方創生などに絡めてお話頂きました。

3題目は大阪大学大学院歯学研究科の久保庭雅恵助教授より「機能性食品と口腔の健康－大豆イソフラボンの働きを中心に」と題してお話頂きました。口の健康が歯の健康だけでなく、健康寿命を延ばす医療としてとらえることができるとの観点より、歯の健康状態に関する様々な事例と対策が紹介されました。さらに女性の閉経に伴う歯槽骨の骨密度低下に対して大豆イソフラボンが効果を示す可能性についてお話頂きました。

4題目は大阪大学大学院医学研究科の磯 博康教授より「大豆摂取と生活習慣病」と題してお話がありました。大豆は植物性たん白質の多くを占める主要食材であることに加え、日本における大規模な疫学研究から、糖尿病、脳梗塞・心疾患のリスクを低減する効果が示されていることや、大豆に含まれるイソフラボンなどが、乳がんや前立腺がんの発症リスクを下げているとのご紹介して頂きました。それらの知見から、大豆製品を毎日摂取することが生活習慣病の予防のために推奨できるとのお話でした。

今回も関係各学会に加えて農林水産省と開催地である大阪府・大阪市の後援を得て、当日は会場一杯となる350名を超える聴講者の方に参加頂きました。なお、本講演の記録誌は平成30年度に刊行予定であります。

尚、平成28年度東京都で開催した公開講演会の記録誌は編集を終えて、平成30年3月に刊行し、聴講者、財団関係者及び関係団体等に配布を行いました。

3. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 事業時報の発行

財団の内容説明と事業紹介のため「時報」第20号を刊行しました。

(2) 時報20周年特別号

財団設立以来20年間の事業実績のとりまとめ、助成成果の外部発表等の調査ととりまとめを進めましたが、過去の運営資料等の掘り起し、整理が遅れたため、編集作業を進めている段階で、平成29年度内の刊行には至りませんでした。従って20周年特別号に係る内容は次年度の事業時報と合わせて刊行する予定です。

(3) 事業活動等の公開

平成28年度の事業報告・決算報告並びに財務内容、及び本年（平成29年）度の事業計画・予算を総てインターネット（<http://www.fujifoundation.or.jp>）上に公開しました。ここには役員・評議員等関係者の随想も掲載されています。加えて、ホームページ中で改訂が遅れていた研究報告会記録誌「大豆たん白質研究」の検索システムも改訂しました。

3. 会議等 注) 文書中決議事項は（議）を付した。

1. 理事会

(1) 第1回理事会の開催：定款第44条による決議

日時：平成29年5月8日（決議があったものとみなされた日）

事項：平成28年度事業報告の承認

平成28年度決算に関わる計算書類の承認

定時評議員会（第1回評議員会）招集についての承認

(2) 第2回理事会の開催

日時：平成29年5月30日

場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」（東京都港区）

議題：平成28年度事業報告について

平成28年度決算に関する計算書類について

選考委員（増員）の選任について（議）

平成30年度研究助成課題募集について（議）

平成29年度行事日程等について（議）

財団時報特別号について（議）

代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

(3) 第3回理事会の開催：定款第44条による決議

日時：平成30年1月5日（決議があったものとみなされた日）

事項：平成29年度臨時評議員（第2回評議員会）招集に関わる事項

内容：平成30年度事業計画案及び平成30年度予算案について

(4) 第4回理事会の開催

日時：平成30年1月30日

場所：千里阪急ホテル 葵の間（豊中市）

議題：平成30年度事業計画案について（議）

平成30年度予算案について（議）

平成30年度研究助成課題の採択について（議）

日程について（議）

代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

2 評議員会

(1) 定時評議員会（第1回評議員会）の開催

日時：平成29年5月30日

場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」（東京都港区）

議題：平成28年度事業報告について（議）

平成28年度決算に関する計算書類について（議）

選考委員（増員）の選任について

平成30年度研究助成課題募集について

平成29年度行事日程等について

財団時報特別号について

代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

(2) 臨時評議員会（第2回評議員会）の開催

日時：平成30年1月30日

場所：千里阪急ホテル 葵の間（豊中市）

議題：平成30年度事業計画案について（議）

平成30年度予算案について（議）

平成30年度研究助成課題の採択について

日程について

代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

3 選考委員会

(1) 第1回選考委員会の開催

日時：平成29年5月29日

場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」（東京都港区）

議題：平成30年度研究助成課題募集要項について

研究報告会の運営について

日程等

(2) 第2回選考委員会の開催

日時：平成30年1月30日

場所：千里阪急ホテル（豊中市）サンシャインテラス

議題：平成30年度助成課題の選考について

その他

附属明細書の作成について

- 1 事業報告に関して、その内容を補足する重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。

以上